

一人ひとりに合った安全な 病室内環境設定の取り組み

～病室内環境表を作成して～

○松谷紀美江
平田好重

清水朝来子
河村春代

山本菜摘

はじめに

病室内は歩行補助具や転倒転落予防の為に設置された器具が常備された状態

個々の動作能力に見合った安全な環境設定のための共通ツールを作成して、スタッフへ患者の病室内環境設定に対する意識を向上させる！

I 倫理的配慮

○看護師・介護士に対してのアンケート結果は看護研究のみに使用するものであり、個人を特定したり個人の評価に影響は及ばないと説明し同意を得た。

○看護部会の審査を受け、承認を得た。

Ⅱ 研究方法

①病室内環境設定表の作成

病室内環境を整え



患者のベッド周囲を写真に撮り



環境設定に必要な言葉を加える



A D L 表の下に貼る

病室内環境設定表



②毎日16時更新出来ているかの確認

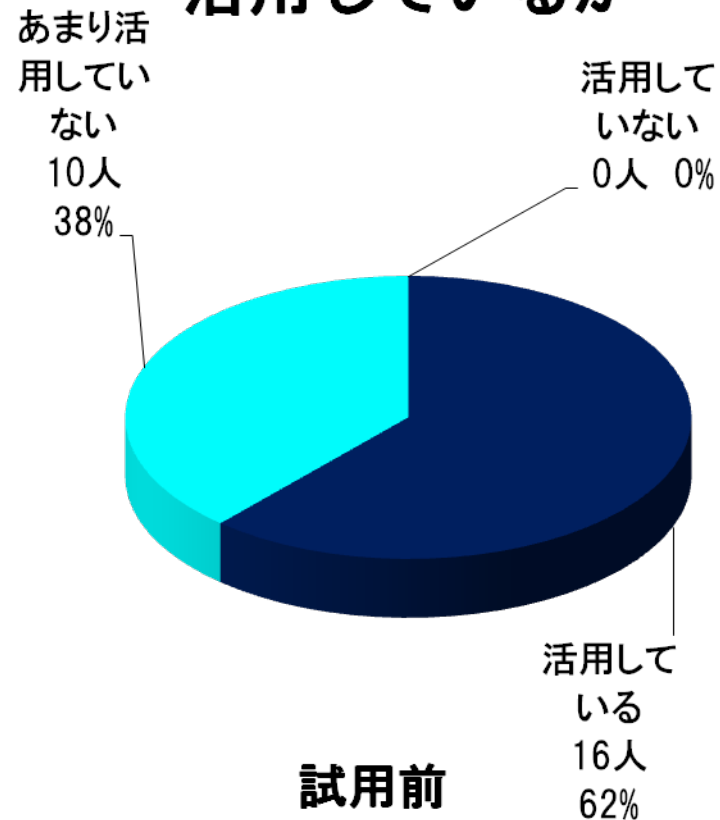
安全な環境設定になっているか

③スタッフへの周知

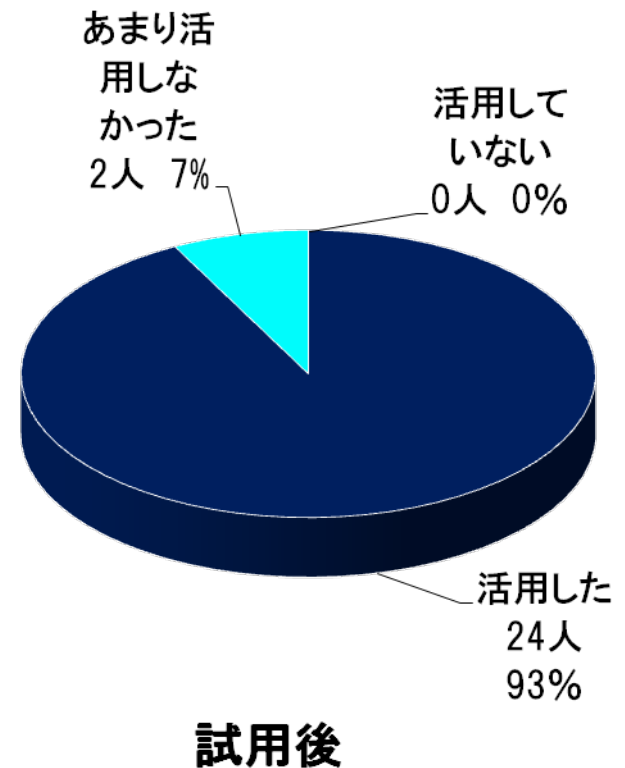
毎週木曜日にカンファレンス施行

Ⅲ 結果

ADL表の環境の部分を活用しているか

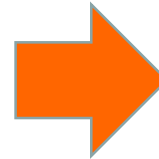
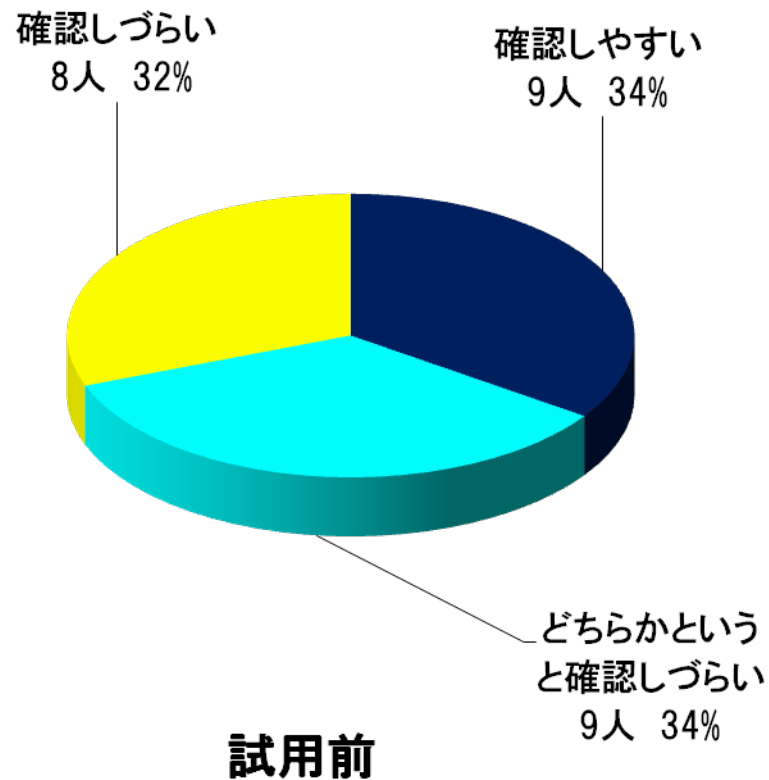


環境設定表の試用後は活用しやすいですか

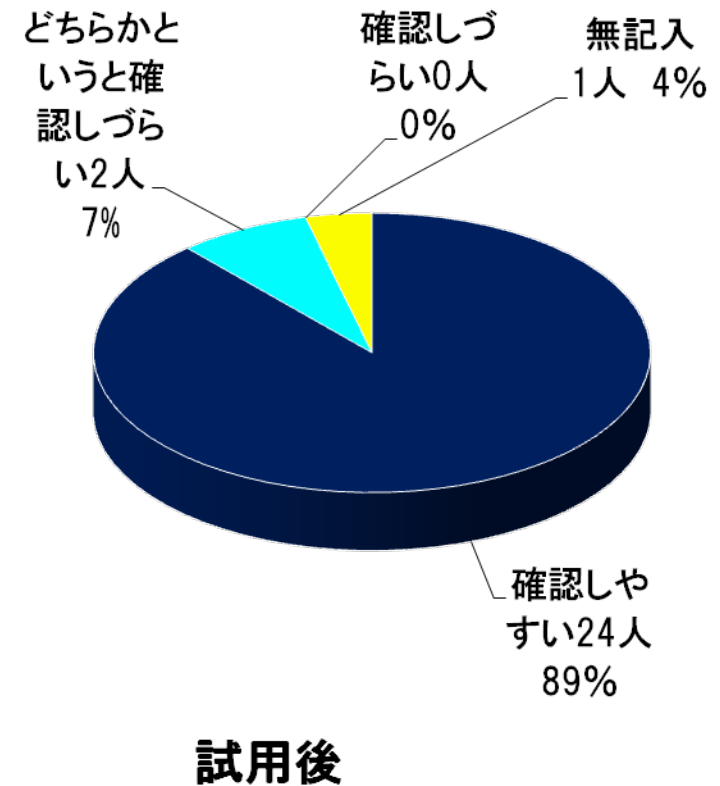


n=26人

環境の部分は確認しやすいですか

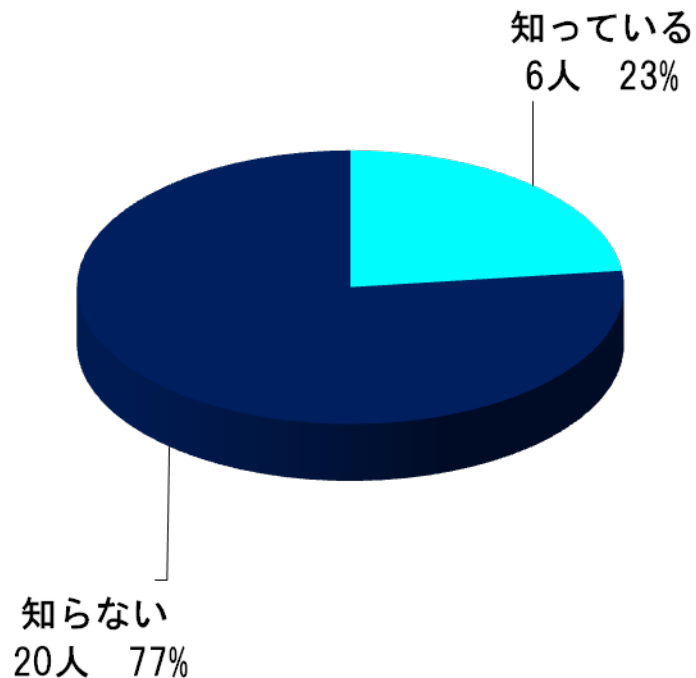


環境設定表の試用後は確認しやすいですか



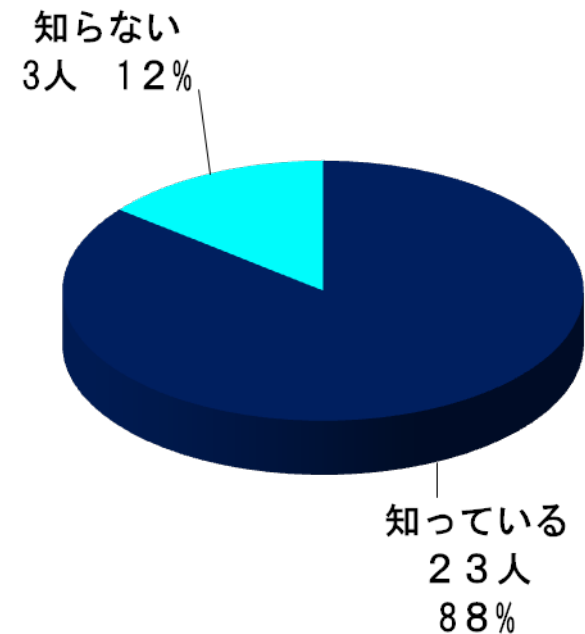
n=26人

環境の情報の更新頻度は 知っていますか



試用前

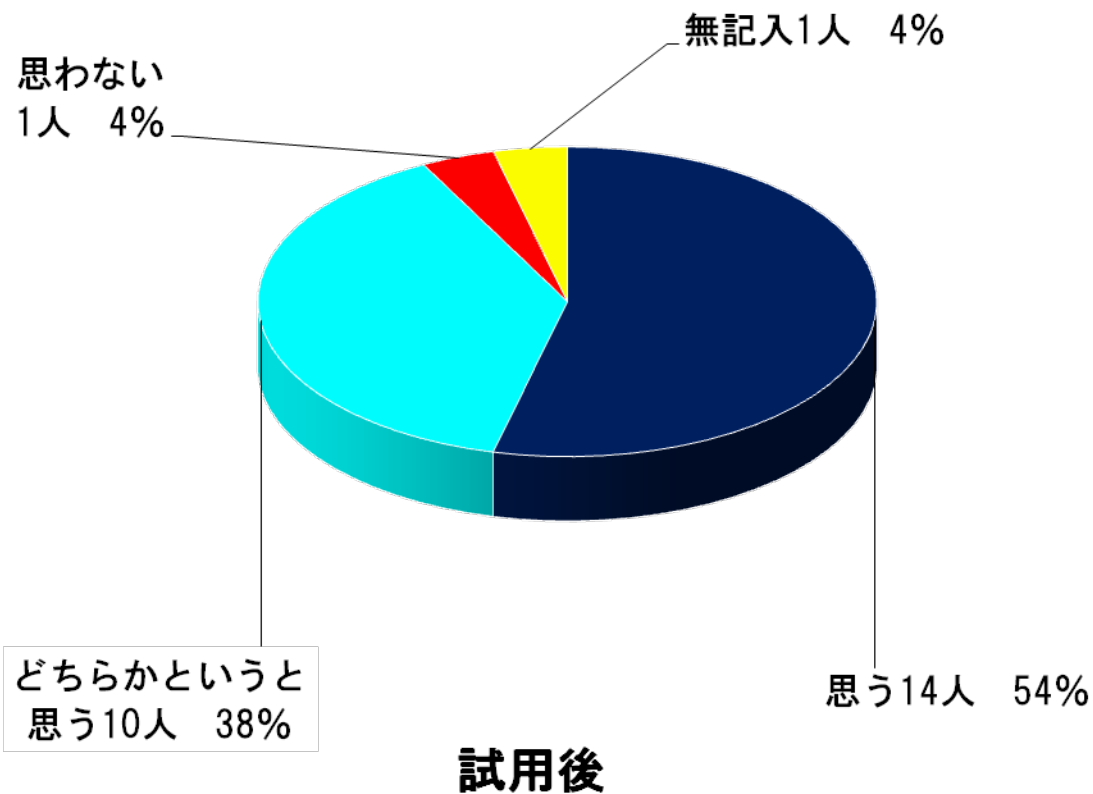
環境設定表使用後の情報更 新頻度は知っていますか



試用後

n=26人

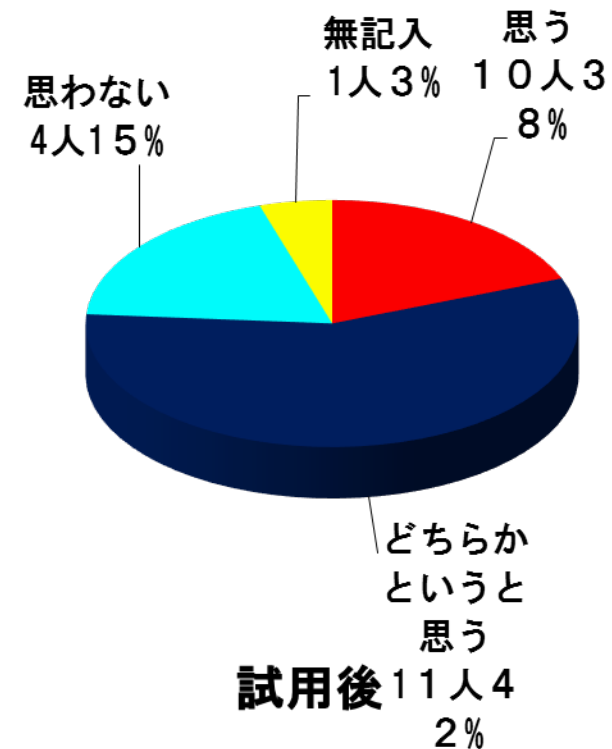
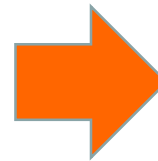
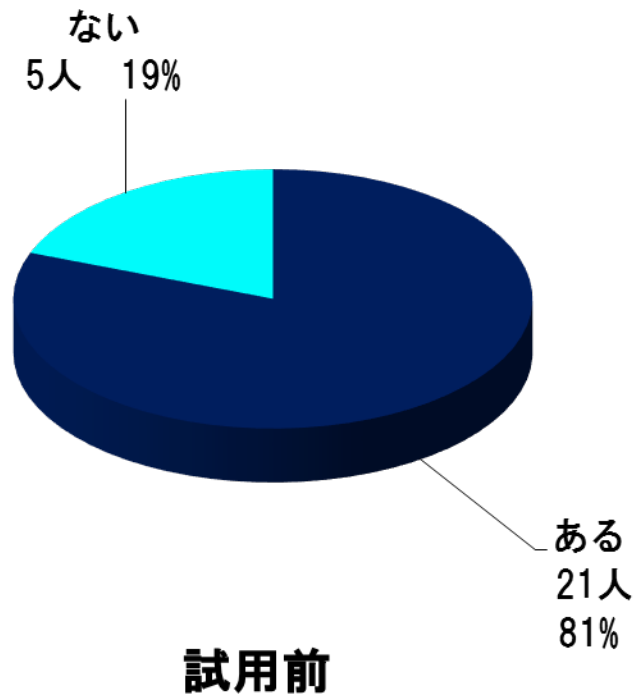
環境設定表を活用以降以前より病室内環境 が改善したと思いますか



n=26人

病室内環境で危険と感じる 事がありますか

環境設定表の試用後で危険 と感じることが少なくなっ たと思いますか



n=26人

Ⅳ 考察

環境設定表の作成・活用



スタッフのイメージ化が容易になった



環境設定に対する意識が高まりスタッフの行動に変化がみられた

**安全な病室内環境は患者の生活の場を
より安全にすることのみならずスタッ
フの動作環境を改善することにつなが
ると考えられる**



スタッフの意識向上に有用であった

V 結論

患者の動作能力に見合った病室内環境を設定することは



- 共通ツールを試用することで、同じ視点での病室内環境設定を可能にした
- 病室内環境へのスタッフの意識向上に有用であった

ご清聴ありがとうございました